

図書だより



令和3年7月14日発行
明和県立高等学校図書室

図書室から

もうすぐ夏休み。

普段できないことにいろいろ挑戦できるときですね。「本を読みたいけど時間がない」「進路のために本を読んでおきたい」と思っているみなさんにも夏休みはチャンスです。特別貸出もおこなっていますので、ぜひ図書室に本を探しに来てくださいね。

夏休み特別貸出

- ・貸出冊数 1人10冊まで
- ・貸出期限 9月1日(水)



夏休みの開館について

- ・開館日 7月/20(火)~21(水)
26(月)~28(水)
8月/10(火)~12(木)
18(水)~20(金)
23(月)~27(金)
- ・開館時間 午前8時30分~午後4時
*8/20(金)は午後1時まで

新着図書紹介

『琥珀の夏』

辻村深月著、文藝春秋

かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。30年前の記憶の扉が開き、幼い日の友情と罪があふれだす。



『100の傑作で読むギリシア神話の世界』

フォンタ著、創元社

現代世界にも通じるドラマを数多く含み、神々が躍動するギリシア神話から、厳選した100の名画と彫刻をオールカラーで読み解く！



『リボルバー』 原田マハ著、幻冬舎

誰が引き金を引いたのか？

「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、著者渾身の傑作ミステリ。

『キャンドル・ワークス』

笹本道子著、誠文堂新光社

道具はおもにキッチンにある身近なものが中心。材料やレシピ、テクニックなど、基本からやさしくていねいに解説しています。



『ヒトコブラクダ層ぜっと 上・下』

万城目学著、幻冬舎

ありえないほど壮大 × 呆れるほど予測不能。

『世界一わかりやすい英語の勉強法』

関正生著、KADOKAWA

スタディサプリ講師として活躍中の関正生先生による、英語勉強法の決定版！「英語のプロ」が徹底的に研究した、一番効率よく結果を出せる学び方を徹底解説。



『六人の嘘つきな大学生』

浅倉秋成著、KADOKAWA

成長著しいIT企業「スピラリンクス」が初めて行う新卒採用。最終選考に残った六人の就活生に与えられた課題は、一カ月後までにチームを作り上げ、ディスカッションをするというものだった。



『名画で読み解くシリーズ』

中野京子著、光文社

- ①『ハプスブルク家 12の物語』
- ②『ブルボン王朝 12の物語』
- ③『ロマノフ家 12の物語』
- ④『イギリス王家 12の物語』
- ⑤『プロイセン王家 12の物語』

この5冊を読めば、歴史も、絵画も、人間もわかる。

『スモールワールズ』

一種ミチ著、講談社

やるせなくて、不自由で、思い通りにならないけれど愛おしい私たちの世界。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。



先生おすすめの本

数学の相川仁嗣先生おすすめ！

『ガッコの先生』小松江里子著、角川文庫
ちょうど自分が高校生で進路について不安を募らせていた時期に読んでいた本です。内容は、大阪から上京してきた主人公・桜木仙太郎が富士見ヶ丘小学校で念願の教壇に立ち、「富士山のような日本一のクラス」を目指して、学級の問題に不器用ながらも全力で立ち向かっていく様子が描かれています。

小説の舞台と現実とは、必ずしも一致するとは限りません。しかし、高校生のときに仙太郎と自分を重ね合わせて悩み共感したことは、確かに現実で生きている自分の基盤となっています。皆さんも進路に不安を抱いているのであれば、その職業の小説などを探して、主人公と苦悩や感動を共にしてみたいかがですか。

1学期に貸出の多かった本

- ・『52ヘルツのクジラたち』 町田そのこ、中央公論新社
- ・『ヒポクラテスの試練』 中山七里、祥伝社
- ・『婚活中毒』 秋吉理香子、実業之日本社
- ・『今日は天気がいいので上司を撲殺しようと思います』 夕鷺かのう、集英社
- ・『この気持ちもいつか忘れる』 住野よる、新潮社
- ・『恋する寄生虫』 三秋緋、角川文庫
- ・『白鳥とコウモリ』 東野圭吾、幻冬舎
- ・『かがみの孤城 コミック版』 辻村深月、集英社
- ・『知識ゼロからのダーウィン進化論』 佐倉統、幻冬舎

